

報道関係者各位

2010年3月吉日

話題必至！

新制作上演 ベルリオーズ作曲『ファウストの劫罰』

フランスの名匠ミシェル・プラッソンと
コンテンポラリーダンス・大島早紀子の幻想空間が再び！

財団法人東京二期会(渋谷区千駄ヶ谷1-25-12)は、2011年7月、ベルリオーズの代表作のひとつ、『ファウストの劫罰』を新制作上演します。本作品はゲーテの詩劇「ファウスト」の第1部をオペラ化したもので、ゲーテの精神が最も反映されているとされる名作です。演出には2007年に二期会『ダフネ』を成功に導いたコンテンポラリーダンス界の第一人者、大島早紀子を再び迎え、指揮には何と現代フランスを代表する名匠であるミシェル・プラッソン！キャストは二期会が世界で活躍するトップ歌手を投入し、究極の総合舞台芸術を目指します。

『ファウストの劫罰』公演情報

エクトール・ベルリオーズ作曲『ファウストの劫罰』 4部からなる劇的物語
字幕付原語(フランス語)上演

日時: 2010年7月15日(木)19:00、16日(金)14:00、17日(土)14:00、18日(日)14:00

会場: 東京文化会館 大ホール(JR 上野駅公園口前)

スタッフ:

指揮: ミシェル・プラッソン

演出・振付: 大島早紀子

装置: 松井るみ / 衣裳: 太田雅公 / 照明: 沢田祐二

配役:

7月15日(木) / 17日(土)

ファウスト: 福井 敬、マルグリート: 林 美智子、メフィストフェレス: 小森輝彦、ブランデル: 佐藤泰弘

7月16日(金) / 18日(日)

ファウスト: 樋口達哉、マルグリート: 林 正子、メフィストフェレス: 泉 良平、ブランデル: 北川辰彦

メインダンサー: 白河直子 / 舞踊: H・アール・カオス

合唱: 二期会合唱団 / 管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団

◆ストーリー

人生に絶望した老ファウスト博士は、突然現れた悪魔メフィストフェレスの誘惑に乗り青春を取り戻す。美しいマルグリートに出会い二人は恋に落ちるが、彼女は母親殺しの罪で死刑宣告を受ける。彼女を救いたい一心のファウストは、悪魔に仕える署名をする・・・。

◆見どころ

『ファウストの劫罰』はフランスの作曲家・ベルリオーズの代表作のひとつ。ゲーテの詩劇「ファウスト」の第1部をオペラ化したもので、ゲーテの精神が最も反映されているとされる名作。作品のなかでも《ハンガリー行進曲》《妖精の踊り》《鬼火のメヌエット》の3曲が有名で、コンサートなどでしばしば独立して演奏されている。

◆大島早紀子×天才ダンサー白河直子

独自の美意識と哲学に支えられた大島早紀子と、衝撃すら覚える極限的な身体造形をもつ天才ダンサー白河直子。2000年にはNYタイムズ誌が選ぶ同年のダンス・オブ・ザ・イヤーに選ばれ、海外でも高く評価されている。これまでに100人の特別編成オーケストラによる「春の祭典」、オーケストラ・合唱団・オペラ歌手と共演した「カルミナ・ブラーナ」など、通常のコンテンポラリーダンスでは他に例を見ないスケールの大きな作品を数多く発表してきており、その集大成として2007年には総合芸術である二期会オペラ『ダフネ』を発表。その空間演出と白河の舞踊は、その年のオペラ界の話題をさらった。



2007年『ダフネ』（日本初演）

大島早紀子演出

東京文化会館大ホール

© 三枝近志

◆驚きの来日が実現！ ミシェル・プラッソンが二期会オペラに初登場

プラッソンは主にフランスのロマン派オペラや近代のオーケストラ音楽において優れた演奏を聴かせることで高い評価を得ている。しっかりとしたリズム感と軽妙洒脱な棒さばきでオーケストラから色彩に富んだ音響を引き出し、フランス音楽の粋ともいえる優雅な抒情性を巧みに描き出す、現代フランスを代表するこの指揮者は、70代に入りますます円熟のときを迎えている。名匠プラッソンが日本でオペラのタクトを振る、この稀有な上演は話題となること必至！

◆世界で活躍するソリスト

タイトルロール・ファウスト役には、先月上演した『オテロ』で気を吐く熱演をみせた福井敬と、07年『ダフネ』で大島から高い評価を受けた樋口達哉。樋口は『ダフネ』以降目覚ましい活躍をみせ、ヴォーカルグループ“JADE”でも活躍。鍵を握るメフィストフェレス役は、ドイツを拠点に活躍する小森輝彦と、日本人離れしたスケールの泉良平。華を添えるマルガレーテ役には、人気・実力を備えた林美智子と、宮崎駿監督作品『崖の上のポニョ』オープニング曲“海のおかあさん”を歌ったジュネーブ在住の林正子。どちらのキャストも見逃せない。

◆強力なプランナー陣

大島を支えるのが、3人の強力なプランナー陣。装置：松井るみは、2004年ブロードウェイ“Pacific Overtures”（宮本亜門演出）でトニー賞デザイン部門にノミネートされた。同じ宮本演出の米サンタフェ・オペラ “TEA”は、松井と衣裳：太田雅公がともに参加。国内外を問わず活躍をしている。照明：沢田祐二はオペラ・ミュージカル・演劇と代表作は数知れず、右に出るものはいない存在。縦横無尽な大島の発想を舞台に反映できうる、第一線で活躍するプランナーたちである。

◆ベルリオーズ・プロジェクト 2010

現代フランスを代表する名匠ミシェル・プラッソンが、7月の東京をベルリオーズ一色に。オペラ『ファウストの劫罰』の舞台を堪能した翌週は、プラッソン指揮・東フィルのベルリオーズ・プログラムで演奏をじっくり味わうことができます（7月22日・東京オペラシティ、23日サントリーホール、25日オーチャードホール）。特に22、23日は林美智子が引き続きソロ（歌曲集「夏の夜」）で登場。あわせてご期待ください。

◆二期会オペラ×ファウストの劫罰

1949年、「二期会」の前進であった「オペラ研究部」が発足。その最初の対外活動が1951年日比谷公会堂で芸術祭参加公演として上演したのが、この『ファウストの劫罰』。当時は2公演を演奏会形式、9公演をオペラ形式として上演し、NHKラジオによる録音放送も行われた。これがきっかけとなり、中山悌一を中心としたメンバーが現在に至る「二期会」を結成し、本格的なオペラ公演活動を開始することになる。

◆おもなプロフィール

ミシェル・プラッソン(指揮)Michael Plasson



1933年パリ生まれ。29歳でブザンソン国際指揮者コンクールに優勝し、キャリアをスタートさせる。日本には73年NHK交響楽団への客演をはじめ、国立トゥールーズ・キャピトル管弦楽団、ドレスデン・フィル管弦楽団やバリ管弦楽団を率いて来日している。フランス音楽の粋ともいえる優雅な叙情性を巧みに描き、現代フランスを代表する名匠は、ますます円熟の時を迎えている。EMIやグラモフォンより録音多数。

大島早紀子(演出・振付)



H・アール・カオス主宰。独自の美意識と哲学に支えられた空間感覚溢れる作品は、国内外で圧倒的的支持を集めている。日本のトップダンスカンパニーとして海外フェスティバルからの招聘も数多く、世界各地で公演・ツアーを行っている。2000年にはNYタイムズ誌が選ぶ同年のダンス・オブ・ザ・イヤーに選ばれる。オーケストラ演奏による「春の祭典」「カルミナ・ブラーナ」「ボレロ」などを発表。ダンスを超えたスケールの大きな舞台は観客の喝采を浴びている。07年東京二期会オペラ『ダフネ』日本初演での成功をおさめ、今回が2度目の登場。

福井 敬 (ファウスト)



岩手県出身。国立音大卒業、同大学院修了。輝かしい声と幅広い表現かつ情感溢れる演技で、わが国を代表するテノールとして活躍を続けている。代表作に新国立劇場開場記念『ローエングリン』タイトルロール、びわ湖ホール・ヴェルディシリーズ『ドン・カルロ』タイトルロール、Bunkamura『トウランドット』カラフなど。今年2月二期会『オテロ』で難役・大役のタイトルロールを見事熱演。マスコミ・聴衆ともに非常に高い評価を受けた。CD「君を愛す」(ディスククラシカ)、「美しき水車小屋の娘」(avex io)がリリース中。

樋口達哉 (ファウスト)



福岡県出身。武蔵野音大卒。同大学院修了後ミラノに留学。ハンガリー国立歌劇場「ラ・ボエーム」ロドルフォでヨーロッパデビュー。ミラノ・スカラ座、メロポリタン歌劇場管弦楽団等と共演。二期会『ダフネ』(日本初演)ロイキッポスの好演で大島早紀子から信頼をよせられている。他に『仮面舞踏会』リッカルド、『エフギニー・オネーギン』レンスキー、『ラ・トラヴィアータ』アルフレード。新国立劇場など多数出演。NHK ニューイヤー・オペラコンサートに連続出演し、その他に The JADE の一員として活躍。輝きのある声と華を持つ旬のテノール。

林 美智子(マルグリート)



埼玉県出身。桐朋音大卒。人気・実力を兼ね備えたトップメゾソプラノ。二期会オペラでは宮本亜門演出『フィガロの結婚』、G.クレイマー演出『ばらの騎士』オクタヴィアン、P.コンヴィチュニー演出『皇帝ティトの慈悲』セストなど、国内外の著名演出家から高い評価を得る。昨年は佐渡裕プロデュースオペラ『カルメン』待望のタイトルロールを務め、“現代のカルメン”を表現。
「赤と黒」「地球はマルイゼー武満徹:SONGS」(ビクター)発売中。

林 正子 (マルグリート)



東京都出身。東京芸大卒、同大学院修了。二期会・ベルギー王立モネ劇場『ニュルンベルクのマイスタージンガー』エーファ、P.コンヴィチュニー演出『皇帝テイトの慈悲』ヴィテツリア、宮本亜門演出『コジ・ファン・トゥッテ』フィオルディリージなどに出演、表現力豊かな演技と歌唱で好評を博す。宮崎駿監督作品「崖の上のポニョ」オープニング曲“海のおかあさん”を歌い一層の注目を集めた。ジュネーブを拠点とし、オーストリアの音楽祭、ナポリ・テアトロ・サン・カルロでヴェルディ「レクイエム」などに出演している。

小森輝彦 (メフィストフェレス)



東京都出身。東京芸大卒、同大学院修了。ベルリン芸術大学に学ぶ。プラハ国立劇場『ラ・トラヴィアータ』ジェルモンでヨーロッパデビュー。ドイツのアルテンブルク・ゲラ市立劇場専属第一バリトン。テアター・オスカーを4年連続受賞。同歌劇場では『リゴレット』でデビュー後、タイトルロールを中心に高い評価を得ている。国内では二期会『こうもり』ファルケ、『フィレンツェの悲劇』シモーネ。新国立劇場『サロメ』ヨハナーン、『アラベツラ』マンドリカ。昨年 2 月二期会『ワルキューレ』では、新たなヴォータン像を創造した。

泉 良平 (メフィストフェレス)



群馬県出身。東京芸大主席卒、同大学院修了。ハンガリー国立歌劇場『ラ・ボエーム』マルチェッロでヨーロッパデビュー。02年宮本亜門演出『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵に抜擢された後、『椿姫』ジェルモン、『エジプトのヘレナ』（日本初演）アルタイル、ハノーファー州立歌劇場共同制作『さまよえるオランダ人』タイトルロール、『蝶々夫人』シャープレスなど。新国立劇場では『マクベス』タイトルロールが代表作。日本人離れした堂々たる体躯・スケールの大きい歌唱は目が離せない。

白河直子 (メインダンサー)



舞踊家。大島早紀子と共に H アール・カオスを設立。欧州・北米・アジア各地で公演をおこない、行く先々のマスコミで最大限の賛辞を浴びている。舞踊の持つ魅力と興奮を実証する突出したダンサーとして、来るべく次代の身体芸術の可能性を切り拓く、世界のダンス界でも希有なアーティストである。近年では 2003 年に Singapore Ballet Theatre に主役として客演し絶賛されたほか、2004 年にも「The Rite of Spring」によるロシア・東欧・北欧での公演を成功に導いている。カンパニーの全ての公演で主役をつとめている他、客演も多く、Dance Opera 「Bluebeard's Doors」の主演。「UZME」ではルジマートフの相手役として主演。07 年 2 月東京二期会オペラ『ダフネ』でもダフネを踊った。

◆入場料金(税込)

[一般料金]

S ¥18,000 A ¥14,000 B ¥10,000 C ¥7,000 D ¥5,000 学生 ¥2,000

[愛好会会員]

S ¥17,000 A ¥13,000 B ¥9,000 C ¥7,000 D ¥5,000

[7月16日(金)カフェ ラントマンスペシャルデー料金]

S ¥14,000 A ¥10,000 B ¥7,000 C ¥5,000 D ¥3,000

◆チケットお問合せ:二期会チケットセンター

電話:03-3796-1831、FAX:03-3796-4710(平日 10時～18時/土 10時～15時 日・祝休)

E-mail: nikikai@mx3.alpha-web.ne.jp

URL: <http://www.nikikai.net>

※ 上記 web サイト上で、いつでもチケット購入(座席選択可能)ができます。

◆取材等のお問合せについて

指揮者、演出家、歌手へのインタビューなどのご要望がございましたら、対応させていただきますので下記あてにご連絡ください。

写真・資料のご請求、取材のお問合せ先

財団法人東京二期会 PR 事務局

河本えり子/相田武将

e-mail: kawamoto@nikikai.net / aida@nikikai.net

電話:03-3524-9180/FAX : 03-3524-4671

URL: <http://www.nikikai.net>